

第1回関西広域連合災害廃棄物広域処理に係る専門家会議の概要

平成24年3月21日
関西広域連合本部事務局

- 日時：平成24年3月16日（金） 午後6時30分～午後8時30分
- 場所：京都府立総合福祉会館 ハートピア京都（京都市上京区）
- 出席者：専門家会議委員5名
（山本座長、飯田座長代理、奥山特別委員、勝見特別委員、児玉委員／藤川委員は欠席）
中塚本部事務局長ほか本部事務局、2府5県廃棄物担当職員
- 傍聴者：別室でのモニター視聴に34名
- 概要

- ▶ 受け入れる災害廃棄物の放射性物質濃度の目安値を100Bq/kg、陸域で埋め立てる焼却灰等の放射性物質濃度の目安値を2,000Bq/kgとする「関西広域連合における東日本大震災の災害廃棄物に関する考え方（案）」について審議した。
- ▶ 考え方（案）については、基本的に了承され、構成府県の一部の焼却施設や処分場での処理方法や作業時間等が異なるため、条件による作業員の被ばく線量、留意事項や配慮事項等を追加した案を次回会議で再検討することとした。
- ▶ フェニックス処分場の海面埋立処分について、国による安全性に対する個別評価を受ける上での留意事項等について意見交換した。
- ▶ 3月21日（水）に第2回会議を開催することとした。

（主な意見等）

○資料3（考え方案）、資料4（構成府県の状況）について、以下の意見があった。

- ・ 大阪府の指針は安全性が担保されている。関西広域連合の目安値については、大阪府の指針がベースにあり、数値等は引用すると明確に書いておくべきである。
- ・ 資料4中、大阪府の条件で「設定なし」と記載しているのは、大阪府指針で類似した作業で試算しているのであれば、それと対比させ、整理する。
- ・ 資料4中、大阪府の条件より厳しいものについて、被曝線量の計算があると分かりやすい。また、大阪府の施設と作業工程や処理方法が違う施設（1～2箇所程度）については、受入れをしないのか、あるいは時間短縮や遮蔽処置で対応するのかなど対応の選択肢を例示する。
- ・ 大阪府指針で埋立時の行うべきとされている事項（埋立場所の特定、水の溜まりやすい場所では埋立てしない、土壌層の上に埋める、即日覆土を行う）も留意事項として記載する。
- ・ 大阪府は船舶での運送を想定しているが、海に面しない府県での貨車等で運送する場合の数値を調べてほしい。
- ・ 災害廃棄物の処理について、空間線量率（バックグラウンドなど）については、天候等に左右されるのではないかと。（→大阪府でも、同様の議論があり、天候や季節でバラつきがあるので留意が必要である。）

- ・ 岩手県では、県内の市町村から県に災害廃棄物の処理が事務委託されている。大阪府内で受け入れる市町村が岩手県と個別に契約を結ぶのは大変であることなどから、大阪府が一元的に受け入れ、岩手県と調整をする。こうした方式についても関西広域連合で検討してはどうか。（→事務局：広域連合委員会に報告し、検討したい。）
- ・ 今回、関西広域連合で統一した考え方を策定することで、各構成府県で受入れが進むことを期待する。

○資料8（フェニックスでの受入れフロー）について、以下の意見があった。

- ・ この専門家会議では、受入基準の検討まではなかなか難しい。
- ・ 国の個別評価を受ける場合の留意事項等について、フリーディスカッションを行う。
- ・ 不燃物等については、篩下残渣と思われるが、不燃物では考え方（案）とも整合性がとれない。誤解を招くので記載を「混合廃棄物破碎選別残渣等」などと改めるべきである。また、埋立は、重金属や熱灼減量などのフェニックスでの受入基準を満たしていることを確認の上行うべきである。
- ・ 陸上埋立ての際には、セシウムはなるべく水に接触しないようにと言っているのに、自由海面とつながった海水投入への直接投入は想定しづらい。
- ・ フェニックス処分場は、遮水護岸で囲まれた中に廃棄物を入れるという形なので、自由海面ではない。また、フェニックスでは余水排水の問題と跡地利用が課題となる。
- ・ 護岸で囲まれた海面が前提としても、海水投入となれば、魚や生態系、地域住民への影響を考慮しなければならない。
- ・ 焼却し、濃縮したものを海水投入すると拡散し、管理が難しくなる。
- ・ 遮蔽した護岸の中であっても、台風や天候の影響を考慮しておく必要がある。
- ・ 跡地利用に掘り返す時に困ることがある。（→廃棄物処理法上、排水が基準を下回るまで廃止できないことから20～30年後まで跡地利用できない。大阪府の指針検討会議では公園等の利用時の線量も試算している。）
- ・ 国の個別評価がどのような内容か不明では、議論がしづらい。（→国とは、まだ具体的な協議はない。関東のように自ら検討し国の評価を受けるのか、所見を示し国の評価を受けるのかはまだわからない。）
- ・ どのような方法で、どのような場所に埋め立てのかを示してもらわなければ、議論がしづらい。総処分量も分からない。
- ・ 次回には、今回の意見の整理を行い、議論を深めることとする。